

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 17
2020・7・29

1 クレックナー大臣：ヨーロッパ議会・環境委員会で演説

―EU農業理事会議長国として所信表明― (2020・7・16)

クロアチアは、EU農業・漁業理事会前議長国として多くの成果を挙げ、そのバトンをドイツに引き継いだ。そして私は議長国の間の目的と計画について説明したい。我々は今、仕事に対してフレッシュである。なぜならば、やるべきことが十二分にあるからである。このため、私はこの委員会において皆さんと意見交流できることに、心からの謝意を申し上げたい。

「農場から食卓までの戦略」は1つの枠組み

ドイツは議長国として来るべき6か月間に、何を計画しているのか？コロナパンデミックとの闘いとその経済的結果の克服は、我々議長国の重点を構成している。コロナ危機が我々に示しているように、これは本質的なことである。確信をもっていえること。それは十分かつ安全な食料を、自由にできることである。我々の前にある半年間の食料政策上のテーマが、基本的な役割を演ずる。

この理由から我々は、「農場から食卓までの戦略」を歓迎する。公正で持続的そして革新的な食料政策システムを、自然と環境との調和でもっての実行を支援する。我々はこの戦略の詳細を、ヨーロッパ議会とEU加盟国と議論することを喜んでいる。そしてEU委員会は、さらなる情報支援を提供する。しかし、我々は「農場から食卓までの戦略」の評価に際して、常に経済的な結果と視野を持ち続けなければならない。

同時に我々は、ヨーロッパにおける食料の供給を、危機に晒してはならない。我々は今、農業理事会の最終結論に関して、その作業を早急に開始したい。そして10月末までに、可能な限り採択できるようにしたい。

拡大された栄養価表示、家畜の福祉表示と食料の無駄の減少

「農場から食卓までの戦略」は、我々の連邦農業省が既に長い間追求してきた、重点的な観点を含んでいる。具体的には次のとおりである。

- 一 EU全域に統一を意図している栄養価表示システム
- 一 同じくEU全域での家畜の福祉表示
- 一 食料の無駄の削減

ドイツはEU域内での統一した栄養価表示実施のための、困難なプロセスを促進したい。我々の視点から様々なモデルの並行的な使用は、合理的でない。

さらに食品企業にも強要することとなる。また、各国においては多様な食品包装に、栄養価の表示をしなければならない。また、この栄養価表示について、全く放棄している国もある。

これに対してEU域内での統一したモデルは、消費者に各国の包括的な指針を提供する。さらに経済のための明確な大枠条件を、創りだしたい。我々はこの委員会が2022年末までに包装表側に、この栄養価表示のための提案することを喜んでいる。さらに我々は、EU全域での統一した生産地表示にも、取り組んでいる。

さらなるテーマ「家畜の福祉」は、高位の優先順位である。家畜の種に適した飼育の持続的な継続発展は、大きな将来課題でもある。これはドイツのためであり、全加盟国のためでもある。そのため、私はEU全域での家畜の福祉表示に尽力する。1月27日のEU農業理事会での審議は、大多数が前向きであった。私の理解では、我々が正しい道にいることを確認する。我々はドイツ議長職のもとで、EU全域での家畜福祉の表示導入のために、詳細な審議を企画している。

私の目的は、ヨーロッパ域内で拘束力のある家畜の福祉表示の導入である。これは統一した条件と法的安定性を創り出す。同時に我々は、より多くの家畜の福祉を創出し、そして財政的に報いさせるためにも、重要な貢献をする。見積もりによると、EUにおいて年間8800万tの食料が、無駄にされている。これは換算すると、毎年1人当たり173kgの量に相当する。我々は、食料供給システムが持続的であることを望んでいる。その際、特に我々が食料の喪失と無駄をさらに集中的に視野に入れることが重要である。

既に新しい波でもって提起されている目的を、追求するために今適切な時期がきている。その際、2016年から食料の喪失と無駄に対して、理事会の決定している結論の実践が重要である。我々は既に到達している前進について、報告することを加盟国と委員会に要請したい。

EU－共通農業政策（GAP）のさらなる発展

農業理事会のドイツ議長職の特別な重点は、GAPの発展においている。我々は、10月の理事会での全般的な方向づけに努力し、そしてその交渉の迅速な終了をサポートする。GAP交渉における私の歩みから、内容的に以下の点が重要である。

- － 収入効果のある直接支払いの維持
- － 環境－気象－家畜保護における高度に野心的な水準
- － EU一域内で平等に効果的に実践
- － 事業実施に際して事務手続きなどの簡素化
- － 農業－食料業強化のための重要な基礎である域内市場で入手した権利と市場指向性の維持

今来ている危機と同時に、前に目を向けることが、目下のところ重要である。なぜならば、我々の計画の成果、コロナパンデミックのさらなる進展にも、関わっているからである。現在、EUレベルで通常の労働の仕方について、なお制限が生じている。私は目標としている：この制限にも拘わらず我々の課題と、我々の設定した期待を最善に満たすことを。

ありがとうございました！

2 ヨーロッパ首脳会議：2017年までのヨーロッパ農業予算を決定

－ EU 農業理事会議長職・クレックナーの声明－ (2020・7・21)

クレックナーはヨーロッパ同盟の財政枠、並びに2017年までの農業予算のための、国家－政府首脳による決定を喜び、以下の声明を發した：ヨーロッパは行動能力をもっている。ドイツの農業理事会議長職の始めに、このことを明らかにした。農業－食料業と農村地域のさらなる発展は、全体としてより強いヨーロッパのための本質的な要素である。

来るべき期間のヨーロッパ農業予算は、僅かに増額の決定がされている。これは1つの大きな成果である。同じようにこれは1つの必要性でもある。なぜならば、ヨーロッパの農業者に対して、社会的要請が計り知れないからである。

我々が望むとき、農業者は公共の福祉のためにより多くの環境上の義務を満たす。農業者の生産が貴重であり、そして競争は簡単なものでないこと。それならば彼らのために配慮しなければならない。

そのため、私は常に安定した財政枠確保のために努力する。我々はドイツのために、7年間の平均において殆ど一定の財政枠を、考慮している。特に農村地域については、平均して5.5%以上の財源を確保している。これにはヨーロッパ再興基金もまた、貢献している。同時に共通農業政策のための財源活用上の柔軟性が、明らかに高まっている。同時に加盟国は、自らの国の構造的な特殊性を、考慮することができる。

これは1つの重要なシグナルでもある。なぜならば、農村地域をより強化し、そして都市と同価値な生活条件（環境）を、奨励するためである。社会的な問題が決定的であり、そして都市と農村との間だけでなく、ヨーロッパ同盟の内部においても、連携が配慮されるべきである。我々の議長国のもとで現在先導していることは、将来に向けた交渉の視点でもって、首脳会談で決定することであった。この決定の成果は将来の農業政策の環境一気象の野心的な水準を配慮し、そしてヨーロッパにおける農村地域と農業者のために、信頼ある枠組みを創り出すことである。

EU農業予算

- 2021~2027年：3870億ユーロ（約46兆4400億円）これは2020年に対して1%強の増加である。
- 農村地域発展のための奨励：960億ユーロ（約11兆5200億円）ヨーロッパ再興基金を含む。これは2020年対比で約3%の増加である。
- 共通農業政策の第1の柱（直接支払いと市場政策）：2911億ユーロ（約34兆9320億円）これは約0.7%の増額である。

3 コロナーパンデミックに対応した乳製品の民間貯蔵に補助金

ーバター、脱脂粉乳、チーズを一時的に市場隔離をー (2020・7・27)

連邦農業大臣クレクナーは、コロナーパンデミックの中で牛乳分野の経営を支えるため、EU委員会に対して早急に市場政策での対応を要請した。特にクレクナー大臣は、EU農業委員ヤヌッシュ ボイチェホフスキ (Janus Wojciechowski) への書簡で、バター、脱脂粉乳とバターの民間貯蔵倉庫のための補助金を要請した。この手段でもって酪農業は、バター、脱脂粉乳並びにチーズを、一時的に貯蔵 (市場隔離) することで、今の状況を変えられる。

そのため、補償を得てより良い状況 (特に再び輸出業が動き出す) で、販売することができる。2020年4月23日にEU委員会が、当時提起した支援政策の中に、牛乳と肉の分野での民間貯蔵に関しての補助金が含まれていた。そして現在、酪農工場の乳製品民間貯蔵 (PLH) のために、補助金申し込みが可能となった。この牛乳分野における政策は、2020年5月7日にスタートし、2020年6月30日に予定通り申込が終了した。

民間貯蔵補助金のお蔭で EU-域内全体での申し込みが、以下のとおりとなっている。

ー 脱脂粉乳	20 138 t
ー バター	67 694 t
ー チーズ	47 711 t

バターと脱脂粉乳の価格は、上昇傾向を伴って6月以来、明らかに介入価格の上方で動いている。民間貯蔵政策は、この時点までに効果が実証されている。貯蔵されている量は、今徐々に市場に入ってくる (奨励されている貯蔵期間の終了によって)。生乳の供給が、11月まで季節に条件づけられて後退するので、全体的に貯蔵による価格の押上が見込まれる。

申し込み量:

脱脂粉乳	ドイツ	10 025 t	EU	20 138 t
バター		13 368		67 694
チーズ		901		47 711

4 クレックナー大臣：連邦狩猟法の改正案を提案

―森林と野生動物の保護と強化― (2020・7・27)

連邦食料・農業大臣クレックナーは、連邦狩猟法改正のための草案を公表した。この法は、特に森林と野生動物の間の適切なバランスを、回復するねらいである。狩猟試験方法を統一、並びに環境に対する狩猟弾から鉛の放出を減らすものである。

改正の基本点：

- ― 野生動物への猟銃使用に際して、動物が不必要に長時間苦しめることなく、即座に死亡させるための狩猟銃弾の採用、また鉛を含んだ銃弾から軟鉄製銃弾への切り替え促進
- ― 狩猟に際しての安全性の向上と動物保護改善、狩猟行動の社会的役割（例えば有害獣の駆除など）への参加に際して、射撃訓練済み証明の必要性
- ― 狩猟一鷹匠教育そして試験に際して、高度かつ広範な連邦統一基準

さらに森林と野生動物のテーマに関する2019年9月の連邦大臣サミット結果の改革案の実施

- ― ノロジカに関する公的な捕獲頭数計画の廃止。その代わりに現地での自己責任での狩猟契約における年間最低捕獲数を管轄機関に報告し、認可されること。
- ― 必要な最低捕獲数について合意が保留されているか、または合意されなかった場合、狩猟管轄機関が代りに最低捕獲数の割り当てを決定する。最低捕獲数は、植物被害の専門家の証拠による裏付けが必要である。最低捕獲数が未達の際は、管轄機関が野生動物の現況と狩猟実施権限によって、捕獲数軽減を指示する。
- ― 連邦狩猟法において、森林の保護育成の考え方と様々な目標の基準値の補完が必要である。気象変動に対して森林が適応することが重要であることから、基本的に保護対策無しで森林の自然的な若返りを可能にすること。

連邦農業大臣クレックナー：

この法でもって森林と野生動物の間の支え合うバランスを創り出し、そし防護柵無しで若い植物が成長できるようにしたい。

このことは、気象変動に耐えうる森林改造のために、決定的に重要である。

その際、我々は現地での自己責任に期待する。重要なことは狩猟銃弾のための規則を、最新の科学的知見に適応させることである。つまり、必要な限り少ない鉛で、多くの動物を保護にするように。これが原則である。

改革案の予定はさらに以下の改正である。

- 一 猪狩猟のために夜の捕獲技術禁止を廃止。特にアフリカ豚コレラとの闘いのための予防として、動物保護に適合した夜の猪狩猟のために。
- 一 皿状の踏み罠の販売・購入の禁止
- 一 夜間行動する猛禽類の卵捕獲の禁止（例外・鷹匠と科学者）。
- 一 野生動物支援のための道路横断用トンネルでの狩猟行為の禁止（例外・巻き狩り）
- 一 狩猟期間の決定に際しての補完規則
- 一 過料額並びに狩猟義務保険料の増額

この草案は、現在 各州一狩猟団体とのヒアリングを行っており、連邦閣議への提案は2020年9月に予定している。

2020・7・28 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
